

ハローキャリアワーク通信



今日は、さくらしんまち保育園の2回目で、やはり、午前と午後の2回実施しました。午前中は、3名の子供たちで、中学2年の子が2名、小学5年の子が1名でした。朝の打合せのときに、担当したい園児のクラスを聞き、5年生のお子さんが、乳幼児クラスで、中学生2人は、2歳児と3歳児以上のクラスに分かれ活動を開始しました。



乳幼児のクラスを希望した5年生の子は、部屋のマットの上で、1人の乳幼児を相手にミニカーで遊び始め、触れ合い方を見つけたよう



でした。また、3歳児以上のクラスを担当した子は、テーブルで遊びをしているグループの中に入り、言葉を掛けながら触れ合いを開始していました。さらに、2歳児を担当することになった子も、担当の先生からの話を受けた後、フロアで遊びをしている子どもたち中に入っていきました。今回参加した子ど



もたちは、スムーズに園児との触れ合いを開始できました。

しばらくすると、2歳児のクラスが近く



の公園に園外保育（散歩、公園での遊び）に出かけることになったので、同行しました。行く途中で、園児と手をつなぎ、安全にも配慮する姿が見られました。公園に着くと、砂場に入り、膝をついて一緒に遊ぶ姿が見られました。砂遊びの道具を使っ

て、食べるふりをしたり道具を貸してもらったりと楽しんでいる様子が伺えました。園児も慣れてきたのか一緒にいる時間が長くなってきました。園に



戻ると、3歳児以上のクラスを担当していた子は、ぬり絵を一緒に行って



ていました。そして、その絵を見て話しかけるなどさらに打ち解けているようでした。また、乳幼児を担当していた子は、屋上の園庭で遊ぶ時間なのか園児を追いかけたり、バレーを習っている園児の開脚を見て、「すごいね」など話しかけたりするとともに、



自らも開脚をして見せていました。最後の振り返りには「みんなが楽しく遊べるようにできた。」「将来保育士になるために今回学んだ一人一人に向き合うことの大切さを活かしたい」「みんなに自然体で接することが大事だと分かりました。」など、それぞれの思いが記されていました。



午後の部になりました。参加予定は2名でしたが、体調が思わしくなく、欠席して、1名の参加となりました。今回は、園長先生から、一番年少の乳幼児のクラスを担当してほしいとのことで、さっそく部屋に向かいました。当然



最初は緊張している様子で、園児が来てくれるのを待っている状態でした。その時、ミニカーで遊んでいた幼児が近



づいてきてくれて、触れ合いのきっかけになりました。遠目に観ていた幼児が身近に来てくれたことからの触れ合いです。人とかかわりの最初の一步を実感した気分になりました。その後

は、園長先生が部屋を出る際に「ここをお願いします」との声掛けに応じて場所を移動しましたが、すぐに園児との触れ合いができました。1時間と短い活動時間でしたが、振り返りには「小さい子の関わり方を知ることができた」と記しており、迎えにいらした保護者の方が「どうだった」と聞かれると「楽しかった」と答えて帰りました。

